

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 ー麻生鳥のさえずり公園ー

第48号 2016年 9月 30日発行

発行：麻生多摩美の森の会

発行責任者：間野 洋

編集者：間野 洋

当会のHP作成に至る経緯と公開

当会がホームページ(以下 HP)作成を企画したのは、平成16年12月の会報7号で作成協力を会員に依頼したのが初めてです。その後HPのひな型が出来、平成18年4月の第4回通常総会で、作成者の森会員よりプロジェクターによる概要説明があった。今後、会員相互間の IT化が必要であると確認された。

以降、約10年HP作成は試みられたが未完のまま。平成28年1月、「第1回やまゆり団体活動発表会」に出席する機会があり出席した。発表の中に、昨年HP作成工房を受講して、会の活動をHP上で発表している団体を見て、我々もこのHP作成工房を受講しようと決意した。

その後受講を正式に申し込み、概略内容は3回の講義、テキスト代1,000円、やまゆり専用のサーバ-の利用料として年間3,000円であった。本件、正式に幹事会の議題に挙げ承された。また受講者は会長と小生の2名と決定した。

6月18日(土)第1回やまゆりHP作成工房に出席。受講する各グループごとに専任の講師を紹介された。その方が運命の出会いになる海口平太郎氏だった。

ここにWebかわさき会員の海口氏について簡単に紹介します。

団塊の世代で、建築設計事務所を退職された後、これまでに12団体のHP作成支援を担当されて来られたとのこと。

2回目の講義は当方の日程の都合がつかず、海口講師に相談の結果、海口氏のご厚意により7月3日(日)、かわさき市民活動センターで9:30より行うことに決定。当日講師より「ノートに書かないで体で覚えなさい」との要望があったものの、中々身につかず……。10周年記念誌のPDFや過去の会報等を、まるでアーカイブのように、また新しいものが上に

副会長 井上 正樹

来るように編集していただいた。

第3回目は7月9日やまゆりを受講した。既にHPの体裁は整っていたため、今までの復習の場となった。

7月17日(日)、HP公開前に海口氏にご足労願って当会会員に対しての説明会を、プロジェクターを使って開催した。この時点でロゴマークも決定。

7月24日、構想より12年経過したが念願の自前のHPが公開された。この様に受講から短期間で公開出来たのも、「HP作成工房」の講座は、基本構造の作成支援だけのところを、海口氏のご厚意で当会のコンテンツ入力支援まで行って戴いた賜物だと感謝の気持ちでいっぱいです。

HP公開後、HP公開の案内を関係行政先、学校、団体、個人宛に36通発送した。この通知を受けて現在麻生区役所、(公財)川崎市公園緑地協会の各HPにリンクして戴いている事にも感謝いたします。

さて今後の問題としては、コンテンツ入力するについても未だ力不足のため海口氏の「HP特別操作ガイド」を続けて受講しマスターすることです。

その上で、後はどのように最新版の情報を盛り込んで更新していくかですが、会員の皆さんとともに歩むしかありません。今後は会員の皆さんにも情報発信が出来るようにしていきたいと思っております。



やまゆりでのHP作成講座

麻生多摩美の森の会HPの構成

Webかわさき会員 海 口 平 太 郎

麻生多摩美の森の会ホームページ（以下、HP）の開設おめでとうございます。

長年の課題だったHP作成の支援に偶然関わりましたが、貴重な体験をさせていただいております。また、麻生市民交流館やまゆりの「サーバー提供」とWebかわさきの「2016年度ホームページ作成工房」を利用いただき、あわせて御礼申し上げます。

この「サーバー提供と作成工房」は2011年度から開始され、現在、31の市民団体が利用しています。このしくみの特徴は、サーバーにHPのソフトウェアがあり、ブラウザ上の管理画面で編集作成できることです。現在、2003年に米国で無償のオープンソースとして公開されたWordPress（ワードプレス）を活用しています。

HPを開設するにはHTMLなどの専門知識が必要でしたが、このソフトウェアはその知識やスキルがなくてもワードなどを使い慣れている方なら、入力の基本的なコツさえつかめばスムーズにHPを作成運営することが可能です。また、ソフトウェアがサーバーにあるので、インターネットが利用できれば、複数の人がいつでもどこからでも管理画面にログインして編集できます。

さて、今回の作成支援にあたり、「葉をみて、枝をみて、木をみて、林をみて、森をみる」ことができる構成を考えてみました。

2003年6月創刊の「麻生多摩美の森だより（会報）」と2013年3月発行の「10周年記念誌」の紙面印刷用のPDFを間野会長から提供いただき、この時、10余年に及ぶ貴重な活動記録が、HPに入力編集転換しやすい状態であることが確認できました。そこで、各単体記事（葉）と各会報号（枝）と各分科会活動内容（木）と各年度活動内容（林）を縦横に編んだHP（森）の構成が思い浮かびました。麻生区役所の「麻生区市民健康の森」HPには広報紙「麻生多摩美の森だより」のPDFが提供されていましたが、この情報をさらに解きほぐして分類しHTML化すれば、多様にリンクを貼り巡らすことができるだろうというねらいです。

第47号までの単体記事は297件ほどで、画像も一号あたり4枚前後ありますので、テキストと

画像を分解するのも入力の初心者には相当の負担になると思えました。そこで、通常の「ホームページ作成工房」では基本構造の作成支援だけで団体のコンテンツ入力支援は行わないのですが、せっかくの貴重な活動記録を活かすために一気呵成に内容の入力支援まで踏み込んだ次第です。

HPの基本構造はしっかりしたものになっていると思います。あとは「ゆっくり急げ」で更新し続けていただければ幸いです。

万福寺人参の栽培に挑戦

副会長 中 谷 一 郎

今年から初めて万福寺人参の栽培に挑戦することにし、6月中旬に万福寺人参友の会のご厚意で種を配布して戴きました。

育て方のマニュアルも戴き、梅雨明け後の播種適期日7月12日前後が良いとのこと播種しました。

まず畑の耕作は、深堀0.9~1mが良いとの事でしたが、なかなか深く掘ることが困難で地表下0.5m、表積み上げ0.5m、合計1.0mと自分たちで解釈し、幅0.5m2畝を作り、残りは深さ20cmの平植えを3畝造り比較することにしました。

始めの2畝の間隔は1.5mです。この2畝はボール紙を被せ、5日後に外しましたが、この間雨が多く梅雨明けとはなりませんでした。発芽が悪く、盛土・平植えともに完敗状態でしたので、次の工程の間引きまではいけませんでした。

原因は多くあると思いますが、天候・土壌の把握・工作方法・播種方法（全て言い訳ですが）研究不足です。

今年の12月下旬の「里山フォーラム」の品評会の出展は無理ですが、来年、再来年こそはと何度も挑戦してみます。



万福寺人参の播種

西生田小学校3年生 「春と夏の観察会」報告

副会長 中谷 一郎

西生田小学校3年生の今年度の学習は多摩美の森の春と夏の様子の違いを比べながら観察を行った。自然の豊かさに気付く様に、樹木はオニグルミ、コナラ・クヌギ、クサギ、ホウノキ、シラカシ等の名札を見ながら巡回。その春と夏の観察会の報告を致します。

●春の観察会

5月18日(木)麻生区市民健康の森にて午前9時から約1時間30分行いました。児童137名全員で春の森を知るため散策・観察し、森の樹木の葉っぱの色は、ハルジオンは咲いているか、昆虫はいたか、バッタを直ぐに見つけ、解らない事は会員の方々に熱心に質問してノートに記入していました。

●夏の観察会

8月25日(木)麻生区市民健康の森で行われました。夏も3年生児童4組全員の137名が参加。初めに会長より春、夏の森の違いの簡単な説明があり、次に自然観察指導員の高橋英講師からは春と夏の森の違いの詳細の説明があった。

児童は4班に分かれ森を巡回・観察。藤棚の下にテーブルにセミの成虫、脱け殻の標本と採取した実物を置き、比較しながらオスとメスの見分け方など会員の説明を受けた。また高橋講師のクサギの話、クヌギ・コナラの葉と枝の間の小さなドングリの説明を聞きながら熱心に子供たちは観察し、ノートをしていました。



クサギの花と葉の観察

●子供たちからの沢山の質問と回答

子供たちから春に初めて観察した森についての22項目の質問書を貰い、高橋英さんにご指導・協力を戴き回答書を作成しました。その中から4項目について紹介します。

1) 多摩美の森の広さはどのくらいか

多摩美緑地全体で10ha、そのうち当会の管理区域は1.5haです。

2) 木は全部で何本(何種類)位あるのか。

市民健康の森にある木の木数は正式には調査した事はない。しかし当会設立前に「多摩美みどりの会」が調査した結果約2,000本弱あったと聞いている。当会分は約1,000本弱で、平成13年以降、当会で植樹した本数は512本で、約10%が枯れ死したとして450本が植生している。結果として現状は約1,500本弱の木があると考え。種類は木本だけでは自生種85と植生47=132+α≒140種類がある。

3) 多摩美の森の会の人たちは、どんな仕事をしているのか知りたい。

作業日は毎月第1土曜日、第3日曜日補助日として第2、第4の水曜日で、月4回です。会員全員で環境保全のため、草刈り、樹木の間伐、枝打ち、竹林の蔓の除去、畑の手入れ、清掃等を行います。現在会員は33名、作業日当りの参加数は6~10名です。

4) どうして多摩美の森の会に入ったか。

人により入り方は異なるが、森の空気と匂いが好きだから、交流が深まるから、森を大切にしたいから、健康のため汗をかきたいから、植物観察が好きだから等。



土星の環にうっとり

オーロラ天文台 小川 誠治

8月4日(土)麻生区市民健康の森で開催された「オーロラ天文台・渋谷星の会」主催の『夏の星空を楽しむつどい』は猛暑の中、雲ひとつない快晴に恵まれ、約30名の市民の皆様は春や夏の星座、火星や土星の環などをたっぷり堪能していただきました。

この日スタッフが用意した15センチ反射望遠鏡の鏡は、故 木辺成磨さんという鏡作りの名人が研磨したいわば名機です。このほか合計で3台の望遠鏡がフル稼働をし、参加された皆様に夏の星空を楽しんで戴きました。

約30名というのは説明する方もちょうど良さそうな人数で、お客さまもスタッフも笑い声が絶えず、お一人お一人とゆっくりと会話が出来ます。質問に即答できない場合には、資料を確認しながらお答えすることもあります。

天体観測のベテランスタッフがいたので、普段はなかなか見られない二重星であるコール・カロリヤこと座の星雲であるM57もお見せすることが出来ました。妙齢の女性3人は、以前にも見えていただいたりピーターの方で同じ望遠鏡での木星と今回の火星の大きさの違いにびっくりしていました。**見えられたお客様は、多摩美地区だけではなく、多摩区南生田の男性は、ほぼ1回目から見えていらっしやるそうです。**

土星を見た方からは「土星のわっかって、昨年もこちらで見せていただきましたが、何度見てもきれいですね」とうっとりするお客様も。

今回のスタッフの中には、川崎の科学館主催の星空観望会で何回もサポートされている経験をお持ちの方もいて、「詳しく解説をしていただいたので、大変良かった」とのお客様からの声もいただき主催者冥利に尽きます。

なお7月12日、このイベントの件でかわさきFMに出演させていただきました。ゲストには麻生多摩美の森の会の間野会長、かわさき多摩美の山トラストの会の小西運営委員長のお二人に出演していただきました。

このイベントが「星と緑のコラボである」旨の意義と平素から緑を守る活動をコツコツと行っている両会の献身的な活動についてもお話をさせていただきました。

次回は来年2月の第一土曜日の予定です。

今後の活動予定

副会長 中谷 一郎

2016年度2回目の会報ですが、あっという間に秋です。会員の老齢化が進み森での力仕事が出来にくくなりましたが、基本理念に基づき森で汗を流すだけです。是非森において頂き力をお貸し下さい。

- 10月 1日(土) 幹事会、草刈り。
- 10月 6日(木) 西生田小4年生、環境学習
- 10月15日(土) プレーパークへの協力。
- 10月16日(土) 樹木の手入れ、草刈り。
- 11月 5日(土) 幹事会、里芋の収穫。
- 11月12日(土) プレーパークへの協力。
- 11月20日(日) 樹木の手入れ、草刈り。
- 11月27日(日) 「花と緑の交流会」
- 12月 1日(木) 西生田小3年生、秋の観察会
- 12月 3日(土) 幹事会、広場周辺の清掃。
- 12月17日(土) プレーパークへの協力。
- 12月18日(日) 下の畑の除草、施肥。
- 12月19日(月) カリタス女子中学クリスマス奉仕
- 12月28日(水) 仕事納め、注連縄、清掃、会食。
- 1月7日(土) 仕事始め、清掃、会食予定。

★ この期間の作業時間は10時～12時です。

★ 会員募集中です。

一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わって下さい。年会費 1,000円

●多摩美の森の会のホームページでは、本誌のバックナンバーも見られます。

<http://web-asao.hp2/tamami/>

◆皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい
《お問い合わせ・連絡先》

間野 洋 044-966-7233

Mano-h@jcom.home.ne.jp

中谷 一郎 044-945-4667

Ichiro-nakatani@niftu.com